

令和3年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	令和3年度 ジュニアボランティアスクール
2	実施社会福祉協議会	越谷市社会福祉協議会
3	協力団体	越谷市聴覚障害者協会
4	活動年月日	令和3年7月26日～28日
5	活動場所	参加者自宅でのオンライン授業
6	内容	聴覚障がい・視覚障がい・肢体不自由についてのオンライン講座

7 活動の様子

当協議会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から昨年よりのジュニアボランティアスクールをオンライン上で行ってまいります。

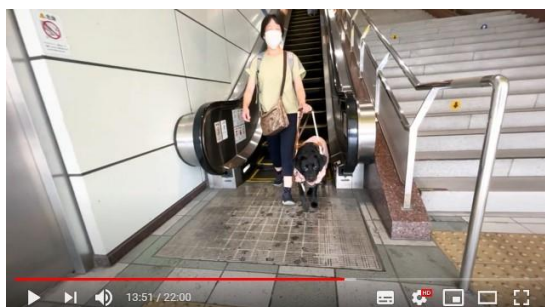
聴覚障がい、視覚障がい、肢体不自由のある3人の講師の普段の生活を撮影した動画教材を子供たちにYouTube上で視聴してもらい、動画に関するワークシートに取り組んでいただいたうえで、授業の当日にオンライン上で講師に質問をしたり、感想をお話していただくというプログラムです。



① 肢体不自由のある講師の頭に小型のカメラを固定して、講師の視点から車いすの利用者が普段どのように生活しているかを撮影しました。飲物や切手の自動販売機での様子、街中の段差や坂道を通るときにはどうなことが起きているかなどクイズシーンを盛り込み子供たちに能動的にワークシートに取り組んでもらえるような動画構成となっています。



② 音が聞こえないということを感じ取ってもらい、障がいや手話についての学びのきっかけとなるようにすべての音を無音にした動画を作成しました。講師が手話で説明していることは字幕で説明をしています。音が聞こえない生活や講師の幼少期の話を交えながら、障がいがあっても地域とどう交流しているか、デフリンピックに参加したことなど様々なエピソードを収録しています。



③ 盲学校で教師をしている全盲の講師が、目が見えない生活の中でどのような道具を使い、工夫をしているかを撮影しました。また、盲導犬を連れた街中での買い物の様子も撮影し、市内の点字ブロックなどの整備がどのように役立っているかを収録しています。



全3日間のオンライン授業には低学年生徒が37名、高学年生徒が18名の合計55名の小学生が参加しました。各家庭からパソコンやタブレットなどでつながり、講師と動画についての感想を発表したり、クイズコーナーや質疑応答を行いました。参加者からは「今まで知らなかった世界が広がった」、「勉強したことを友達や家族に教えたい」、「(オンラインでも)みんなと一緒に勉強できて良かった」などの感想がありました。